

なかのたけこのはか (ほっかいじ)

# 中野竹子の墓(法界寺)



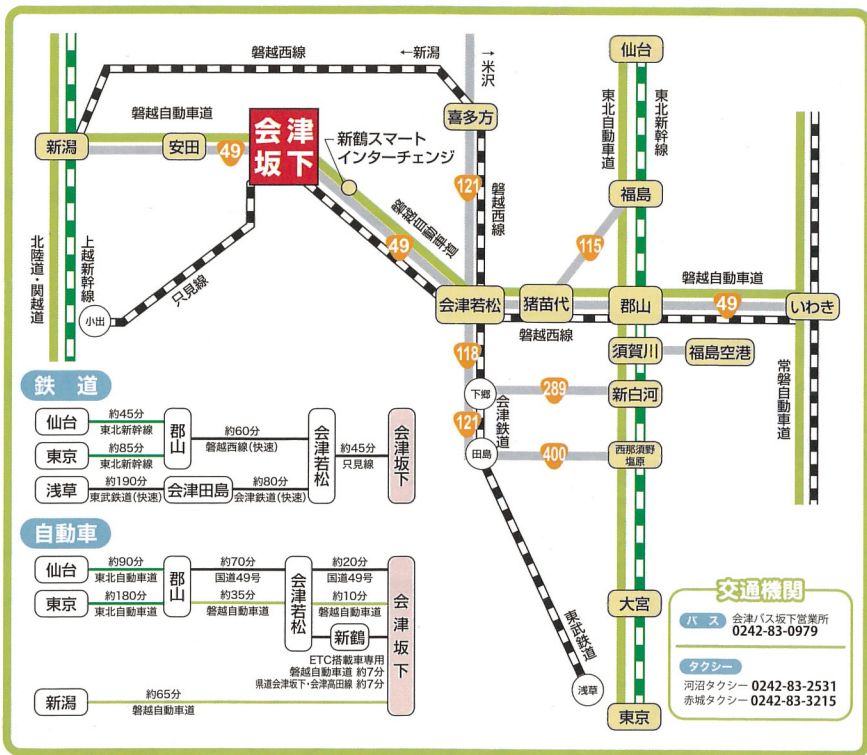
戊辰戦争において女性ながらも薙刀を手に果敢に戦った中野竹子。辞世の句「武士(ものふ)の猛き心にくらぶれば数にも入らぬ我が身ながらも」が竹子の心情を伝えていきます。

敵の銃弾に倒れた竹子の首級は法界寺に手厚く葬られ、毎年9月には墓前祭が営まれています。



中野竹子  
イメージキャラクター  
「たけちゃん」

[2-1] ☎0242-83-3519



観光ガイドブック

# あいづばんげ



ばんげのイメージキャラクター  
バンペイ



会津坂下町 産業部 商工観光班  
TEL0242-83-5711・FAX0242-83-5713

(社)会津坂下町観光物産協会  
TEL / FAX0242-83-2111

〒969-6543 福島県河沼郡会津坂下町字市中二番甲 3650  
URL <http://town.aizubange.fukushima.jp>  
E-mail [nigiwai@town.aizubange.fukushima.jp](mailto:nigiwai@town.aizubange.fukushima.jp)

# ばんげ初市 大俵引き

極寒の中、下帯一本の男衆が東西に別れ、長さ4m、高さ2.5m、重さ5tの大俵を勇ましく引き合う姿は「会津の冬の風物詩」。上町（東方）が勝つとその年の米の値段があがり、下町（西方）が勝つと豊作になるといわれています。また、引き子は一年間無病息災になるといわれ全国から引き子が集まります。

大俵引きが終わると、「福豆俵まき」が行なわれ、拾うと一年間福が授かると言われています。



開催日 1/14 会場◇役場前メインストリート

## 引き子募集

募集締切／12月25日まで  
連絡先／社 会津坂下町観光物産協会  
TEL0242-83-2111



福豆俵まき



スポーツ少年団俵引き

# ばんげ 夏まつり

役場前のメインストリートを歩行者天国にし、「坂下三人小町披露式」、「水合戦」、「様々なステージイベント」が開催されます。

夜には、大規模な流し踊り、打ち上げ花火が行なわれ、街中を明るく照らします。

開催日 8月第1日曜日  
会場◇役場前メインストリート



水合戦



流し踊り

# 御田植祭

その年の実りを祈願して実施される「御田植祭」では、神輿渡御、太鼓台の巡行、奉納親善相撲が行なわれます。さらに、春の到来を告げる早乙女踊りが町内各所で奉納されます。

開催日 7/7 会場◇諏訪神社  
栗村神社周辺



神輿渡御



奉納親善相撲



# ばんげ秋まつり

秋まつりは、仮装山車や太鼓台が町のメインストリートを練り歩きます。仮装山車は、坂下地区の15の各自治会が約1ヶ月をかけ受け継がれた技と新たな発想により造り上げます。

宵まつりは、夜から提灯行列とライトアップされた山車巡行が夜の街を照らします。本まつりは、山車のコンクールが開催され、役場前では仮装した子供たちがダンスや演舞などのパフォーマンスを行い、まつりを盛り上げます。

開催日 9月第3日曜日(宵祭りあり)  
会場◇役場前メインストリート



お囃子



稚児行列

## 太鼓台 としやれっこ

当町では、太鼓台を「としやれっこ」といいます。御田植祭と秋まつりでは、太鼓と篠笛で演奏される「お囃子」に合わせて子供たちが太鼓台を引いて、町内を練り歩きます。

見る  
祈る  
巡る  
触れる  
味わう  
マップ



上宇内薬師堂



木造十二神将立像

国重文  
かみうないやくし  
**上宇内薬師**

会津五薬師の一つである上宇内薬師は、像高183cm、ケヤキの一木造りの坐像です。胸板を厚くして体感部の量感をだし、全体的に穏やかで十世紀の造像と考えられます。

この像は、調合寺の本尊でありましたが荒廃し、その後、薬師堂は道安により元禄4年現在地に再建・再興されました。

堂内には、日光・月光菩薩立像、宝光虚空蔵菩薩立像、聖観音菩薩立像、十二神将五軀も安置されています。

連絡先／管理人 齋藤宣詔  
(0242-83-1936)  
拝観時間／9:00～16:00  
拝観料／500円(要予約)  
【F-3】



じんがみねじょうあと

**史跡 陣が峯城跡**

陣が峯城跡は、平安時代の築造で、三方に大きな二重堀跡が巡り、東側は比高差20mの急峻な断崖となっています。

その規模は、東西約110m、南北約175mで、入口部分の西側にのみ土塁が存在しています。



陣が峯城跡出土品(白磁)

出土遺物は、中国産白磁、高麗青磁、和鏡、秤のおもりが出土しています。

【F-3】



かめがもり・ちんじゅもりこふん

**史跡 亀ヶ森・鎮守森古墳**

亀ヶ森古墳は、全長127m、前方部幅60m、後円部幅72mであり、四世紀後半代に築造された東北地方最大級の前方後円墳です。

鎮守森古墳は、全長55m、前方部幅17m、後方部幅31mの前方後方墳です。築造時期は、亀ヶ森古墳のやや後と考えられています。

これらの古墳から、円筒埴輪や壺型土器などの遺物が出土しています。

【G-3】



青津観音堂

えりゆうじ 国重文 たちきかんのん  
**恵隆寺 立木観音**

「塔寺の立木観音」と呼ばれ、地元で大変親しまれている千手観音菩薩。

この菩薩は、千手千眼観世音菩薩とも呼ばれ、千の慈眼と千の慈手をもってさまざまな苦悩から人々を救済するといわれています。

本像は、一木造の千手観音立像で、像高742cm、総高850cmの大像で、床下にその根が続いているといわれています。

堂内には菩薩につき従う二十八部衆と風神・雷神合わせて三十軀がほぼ完全な形でそろっています。



木造二十八部衆立像



風神



連絡先／金塔山恵隆寺(えりゆうじ) (0242-83-3171) 【F-4】  
拝観時間／9:00～16:00 拝観料／300円  
御開帳／8月17・18日  
午前10時及び午後2時(約1時間)

**会津の霊地観光**

**会津ころり三観音**

三つの観音をお参りすれば、一生を健康に過ごし、家族に世話をかけずにコロリと往生できると言い伝えられています。

立木観音 ● 金塔山恵隆寺(会津坂下町)

中田観音 ● 普門山弘安寺(会津美里町)

鳥追観音 ● 金剛山如法寺(西会津町)

**会津五薬師**

会津地方にある薬師如来を本尊とする5つの寺院の総称で、徳一の創建と伝えられています。

西方薬師 ● 上宇内薬師堂(会津坂下町)

中央薬師 ● 勝常寺(湯川村)

東方薬師 ● 慧日寺(磐梯町)

北方薬師 ● 北山薬師(喜多方市)

南方薬師 ● 野寺薬師・下木屋薬師(会津若松市)

※薬師如来坐像が現存しているのは、「上宇内薬師堂」と「勝常寺」のみです。



立木観音堂(国重文)



英国タクシー



だきつき柱



絹本著色光明本尊



光明寺楼門



木造宝冠釈迦如来坐像

## 歴史街道

町のメインストリートから一本北側の静かな路地に入ると、山門で有名な光明寺があり、さらにその近くには赤穂四十七士、堀部安兵衛ゆかりの貴徳寺、戊辰戦争で散った娘子軍隊長、中野竹子が眠る法界寺などもあって寺巡りの散策コースとなっています。

また、お寺では、座禅や写経体験(要予約)などができるところがあります。

### 北裏通りにある史跡・文化財

- 法界寺 ● 戊辰の華「中野竹子」墓所 【I-2】  
昭和の作曲家「猪俣公章」墓所
- 光明寺 ● 版画家「斎藤清」墓所 【H-2】  
楼門(町指定文化財)
- 光照寺 ● 絹本著色光明本尊(県重要文化財) 【H-2】
- 貴徳寺 ● 赤穂浪士「堀部安兵衛両親」墓所 【H-2】
- 定林寺 ● 木造宝冠釈迦如来坐像(町指定文化財) 【G-2】



おもいで館内



猪俣公章 (墓所 法界寺)  
日本を代表する作曲家、故 猪俣公章先生より寄贈された遺品等が展示(江戸館【H-2】)されています。



春日八郎のブロンズ像

## 昭和の歌謡界に触れる

昭和の歌謡歌手、第一人者である“故 春日八郎先生”は当町の出身者です。

先生を偲び、「別れ的一本杉」をイメージさせる一本杉と地蔵の傍らに「春日八郎記念公園・おもいで館」があります。

館内には、先生の愛用のピアノやステージ衣装などゆかりの品々が展示されています。

また、駅前広場には、ブロンズ像があり、デビュー曲である「赤いランプの終列車」のメロディーが流れます。

問い合わせ先／春日八郎記念公園・おもいで館

☎0242-82-4254

開館時間／10:00～17:00

開館期間／3月中旬～12月中旬(無休・冬季休館)

【E-6】

## 国重文 旧五十嵐家住宅

会津平田部の本百姓農家の住宅。「享保14年」に建てられたもので、昭和30年頃まで住居として使用しており比較的改造の少ない状態で現在の場所に移築し、平成8年から公開しています。

旧宿場町の面影残る塔寺地区にあり、立木観音とも隣接しています。

また、会津盆地の西端に位置し会津盆地、磐梯山、猫魔ヶ岳が一望できるスポットでもあります。



公開時間／4月～12月 午前9時～午後4時

閉館日／月曜(月曜が祝祭日の場合はその翌日)

問い合わせ先／教育委員会文化振興班

☎0242-83-2234

【F-4】

## ばんげの花をめぐる

「杉の糸桜」は、天正年間(1573～1592年)に植えられたというシダレザクラ(エドヒガン)の一種で、会津五桜のひとつ。微紅色の美しい花が流れ落ちるように咲きます。両側には、この「杉の糸桜」の子孫があり、美しい花をつけます。【E-5】

また、桜の開花時期にあわせ、町の特産品を販売する「糸桜まつり」を実施しています。

その他にも、会津坂下町ではいろいろな花をめぐることができます。

### ばんげの花の見所

杉の糸桜	杉(葉王寺)	4月下旬頃
りんごの花	杉山地区	5月上旬頃
ひめさゆり	天屋地区	6月中旬頃
そばの花	長井地区	9月上・中旬頃

りんごの花と猫魔岳

## 五浪美術記念館

本町の名誉町民であるとともに日本画家として第一線で活躍された、故小林五浪画伯より寄贈された美術館。

水墨画・アイヌシリーズ・シルクロードシリーズ等の作品200点余りを中心に収蔵しています。

開館日／土・日曜・祝日

【J-2】

開館時間／午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)

問い合わせ先／教育委員会文化振興班 ☎0242-83-2234



## 温泉施設

### 日帰り温泉

糸桜里の湯ばんげ  
☎0242-83-1151【E-3】

神経痛、筋肉痛、冷え性などの効果があります。会津磐梯山と会津平が一望できるパノラマ大浴場が魅力です。



糸桜里の湯ばんげ

## 宿泊温泉 鉱泉

洲走鉱泉・洲走の湯



津尻温泉・滝の湯 ☎0242-83-3529【F-2】

浴場から滝が見えることから名がつけました。効果は胃腸病、神経痛など。

洲走鉱泉・洲走の湯 ☎0242-85-2658【B-4】

山間部にある一軒宿でまさに「秘湯」、地元では汗疹など皮膚病関係の効果で知られています。

松林閣



割烹旅館・松林閣 ☎0242-83-0500【F-3】

会津盆地を一望できる高台にあり、郷土料理も堪能できます。

民宿旅館・堀 ☎0242-83-3027【I-2】

馬肉料理が楽しめます。

ビジネスホテル・サンロードばんげ

☎0242-83-3891【I-1】

民宿坂本

☎0242-83-0398【C-5】

## グリーン・ツーリズム

### 農家民宿

農家民宿とは、田舎の農家に泊まり地方の暮らしや生活文化などに触れることです。

本町には、農家民宿が12軒あり、農泊すると、親戚の家に遊びに行くような、懐かしくゆったりした時間を過ごすことができます。

- 会津游山窯
- アルス古川
- そばの里
- komelon
- 江川屋
- 上の家
- 四季語り
- KOMHOUSE
- りんごの花
- 佐藤農園
- たけちゃんち
- 果実の里



農家民宿にて寛ぐ学生達



キャンパスマルシェ交流のある大学で

問い合わせ先  
町役場産業部商工観光班  
☎0242-83-5711  
URL: <http://www.ba-gt.com>  
受付時間8:30 ~ 17:00  
(土日祝日定休)

### 農家レストラン

採れたての野菜や新鮮素材を創作料理で提供しています。

● けやき蔵 ☎0242-82-2387



創作料理を堪能する

## ばんげDE体験

自然豊かで、農業が盛んな「ばんげ」では、グリーンツーリズムを推進しており、農業体験や「ばんげ」ならではの体験ができます。

会津といえば「お米」。もちろん種まきから稲刈りまで農業体験ができます。他にりんごや花卉等の作業体験、果樹や野菜などの収穫体験など、いろんな人や体験の出会いが待っています。

会津坂下町の  
たまたまの  
竹相



流しそめんを楽しむ子どもたち



田植え体験



さくらんぼ狩り



ワーキングホリデーできゅうりの収穫



そば打ち体験



小正月行事 団子刺し体験



まぼろしとまで言われる

# ばんげの酒

米どころ会津の中でも、有数の良質な米が採れる会津坂下町。水も良く、豊富であることから、極上の地酒ができます。町内には、江戸、明治からの老舗酒蔵が三蔵あり、伝統と研究によりそれぞれ個性豊かな酒があります。自分好みの地酒を探し、馬刺しや会津の郷土料理を肴に、芳醇な味わいを楽しめます。

## 会津坂下の地酒



曙酒造 ☎0242-83-2065 【I-2】

代表銘柄 一生青春・天明

豊国酒造 ☎0242-83-2521 【I-2】

代表銘柄 真実・學十郎

廣木酒造 ☎0242-83-2104 【I-2】

代表銘柄 泉川・飛露喜

# 味噌・醤油

長い歴史を持つ当町の地場産業である味噌・醤油の醸造。町内には、醸造蔵が三蔵あり、いずれも頑固なまでの伝統とこだわりを持ちながら、旨さへの新たな試みにも挑戦しています。

各蔵を訪ねれば、自慢の「味噌・醤油・漬物」の味が楽しめます。

八二醸造 ☎0242-83-2051

寛政二年創業。  
伝統のみそと醤油は絶品 【H-2】

高砂屋商店 ☎0242-83-2032

昔ながらの製法で味噌・醤油を製造。醤油はそばなどのたれに合います。 【I-2】

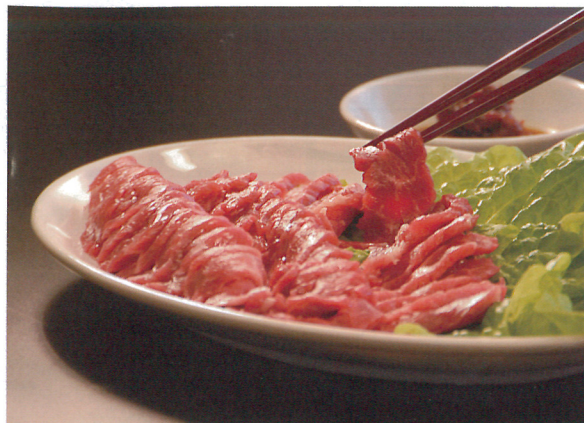
目黒麹店 ☎0242-83-3723 【H-4】

会津米を発酵させた秘伝の麹を使った味噌。味噌作り体験も可能(11月~6月)



# さくら肉 馬革製品

当町は旧越後街道の宿場町として栄え、多くの馬が人々の生活と密接に係っていました。また、馬のせり場があったため、「さくら肉(馬肉)」を食べるようになったと言われています。



ばんげの馬刺しの特徴は、脂身のない赤身の肉に、各店秘伝の「辛味ニンニクダレ」を醤油に溶いて食べます。他にも煮込み、ステーキ、しゃぶしゃぶなどが楽しめます。また、バックや財布などの馬革製品を取り扱う店もあります。



どてちん丼(竹原肉店)



馬革製品(白春工芸)

## 販売店

伊藤精肉店 ☎0242-83-4518 【G-2】

肉の荒掘 ☎0242-83-2304 【G-2】

小林畜産 ☎0242-83-6350 【F-5】

## 販売店・食事処

坂下ドライブイン ☎0242-83-3027 【I-1】

小林精肉店 ☎0242-83-2163 【I-2】

竹原肉店 ☎0242-83-1627 【F-5】

## 食事処

雪花 ☎0242-83-2559 【H-2】

## 馬革製品取扱店

白春工芸 ☎0242-83-2963 【F-5】

# そば

当町の山間部は、澄んだ空気と、昼と夜の寒暖の差が大きい気候から、良質なそばを育むには最適な土地であります。

採れたそば粉を100%使用し、各店の主人が腕によりをかけて、そばを仕上げます。特に、ばんげのそばは、そば粉を伸ばすのではなく、打つことにより、喉ごしのすばらしいそばに仕上がっています。

また、そば打ちを体験することができます。



# そば打ち 体験



加藤そば道場 ☎0242-85-2366【C-4】

小熊そば工房 ☎0242-82-2689【I-5】

そばの里(藤川) ☎0242-85-2140【C-4】

内海そば庵 ☎0242-83-1822【F-6】

## 会津坂下そばのれん会

糸桜里の湯ばんげ ☎0242-83-1151 【E-3】

紋平茶屋 ☎0242-83-2379 【F-5】

民そば屋 ☎0242-83-2455 【I-2】

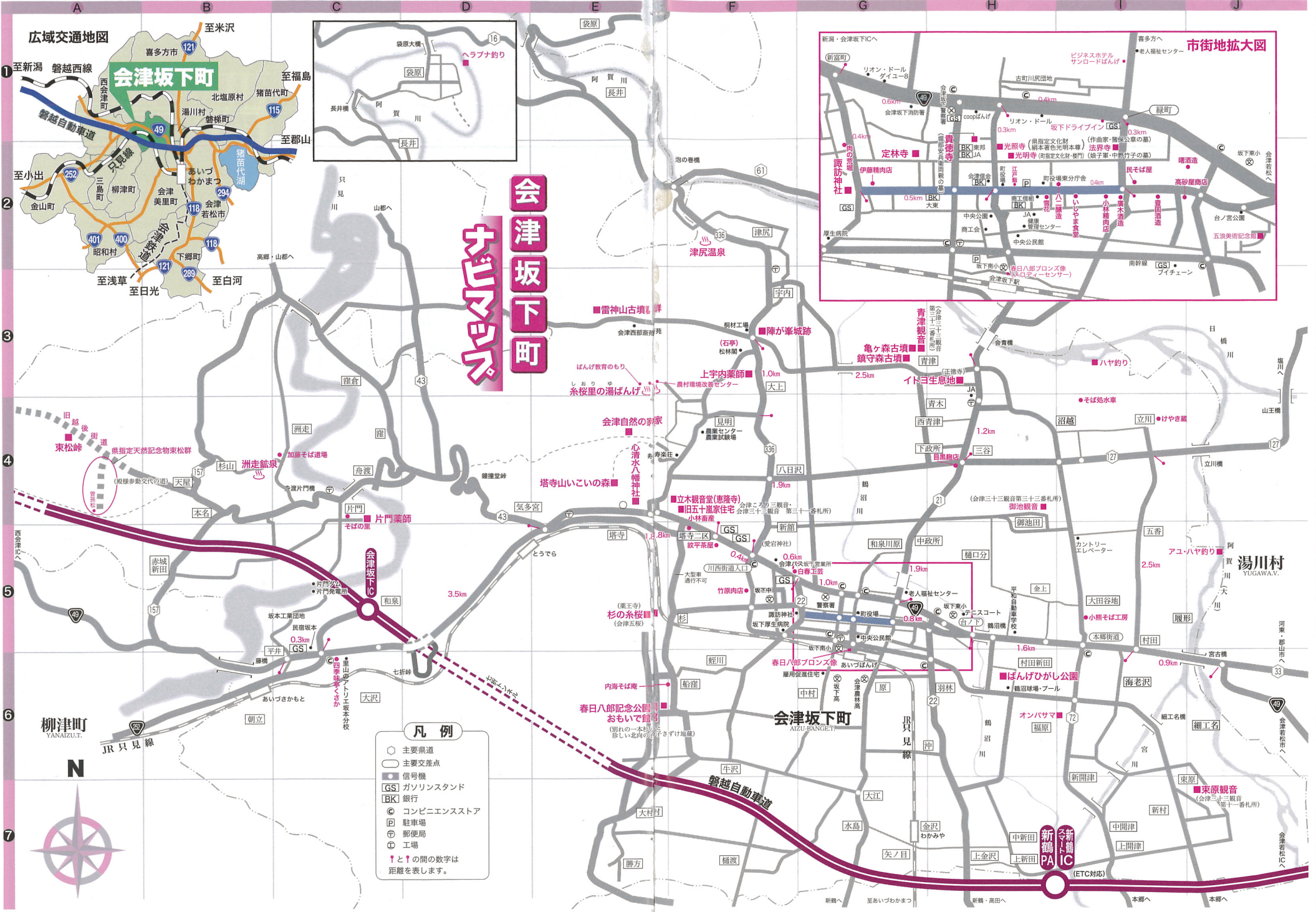
そば処水車 ☎0242-83-4874 【I-4】

いしやま食堂 ☎0242-83-2365 【I-2】

四季味亭くさか ☎0242-83-4456 【C-6】



FAX



広域交通地図

会津坂下町

会津坂下町

市街地拡大図

- 凡例**
- 主要国道
  - 主要交差点
  - 信号機
  - GS ガソリンスタンド
  - BK 銀行
  - ◎ コンビニエンスストア
  - ⊕ 駐車場
  - ✉ 郵便局
  - ⊙ 工場
- ↑ と ↓ の間の数字は距離を表します。